

環境経営レポート

対象期間：2023年9月～2024年8月

発行日：2024年11月25日



清水ペイント株式会社

組織の概要

- ・事業所名 清水ペイント株式会社
- ・代表者名 深野 正治
- ・所在地 本社：東京都葛飾区高砂 1 - 2 3 - 3
足立事務所：東京都足立区西新井栄町 2 - 9 - 5
(足立事務所は2024年3月閉所)
- ・環境管理責任者 深野 正治
- ・連絡先 TEL:03-3691-5511 FAX:03-3691-4488
営業部 倉持
[mail:sz-paint@atlas.plala.or.jp](mailto:sz-paint@atlas.plala.or.jp)
- ・事業活動内容 建築塗装工事、橋梁塗装工事、防水工事
- ・建設業許可 東京都知事（特-5）第130842号
塗装工事業
東京都知事（般-5）第130842号
防水工事業
- ・事業所概要 従業員数：9名
本社：延べ面積：200㎡
足立事務所：延べ面積：60㎡
(本社2024年4月～ 建替に伴い116.51㎡)

対象範囲

- ・登録組織名 清水ペイント株式会社
- ・対象範囲 本社：東京都葛飾区高砂 1 - 2 3 - 3
足立事務所：東京都足立区西新井栄町 2 - 9 - 5
(足立事務所は2024年3月閉所)

※ 当社は全組織・全活動を対象としています。

環境経営方針

「環境理念」

清水ペイント株式会社は、建築塗装工事、橋梁塗装工事、防水工事を通じ、環境に配慮した良質な施工を提供することで社会に貢献していきます。

また、環境問題において意識と疑問を持つことで未来の地球のためにできることを探し行動していきます。

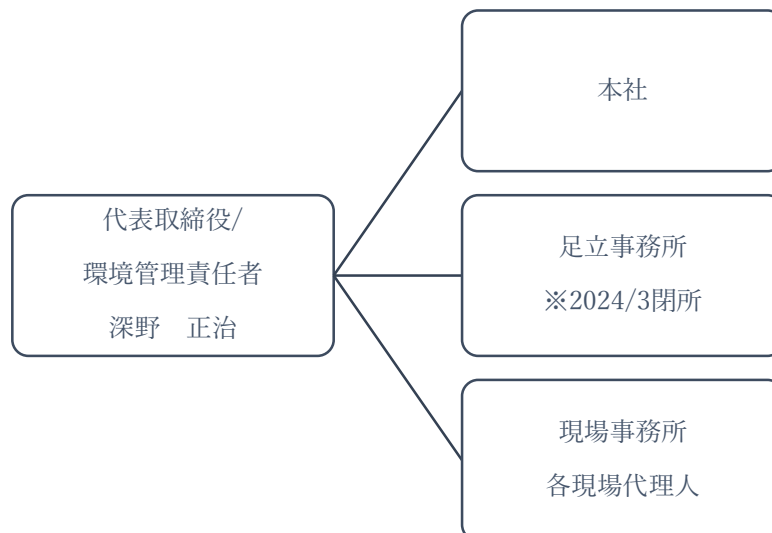
「環境経営方針」

1. 環境に配慮した材料の使用率向上に努めます。
2. 環境に関する法的要求事項、及び当社が同意するその他の環境要求事項を遵守すると共に、関連する社会的要求事項を尊重します。
3. 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を定め、その実現を図り、定期的な見直しをすることにより環境マネジメントシステムの継続的改善を推進し、資源の有効活用に努めます。
4. 本方針を全社員に周知し、自主的、積極的に環境改善に努めます。
5. 事業活動に起因する廃棄物の削減、省資源省エネルギー、リサイクル活動を推進します。

2021年6月1日

清水ペイント株式会社
代表取締役 深野 正治

実施体制



役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任
	・ 認証、登録を対象とする組織と活動を明確にする
	・ 環境管理責任者を任命
	・ 環境方針を制定し社員に周知する
	・ 代表者による全体の評価と見直しを実施
	・ 効果的で必要十分な実施体制を構築する
	・ 各自の役割、責任、権限を定め、全従業員に周知する
	・ EA21を運用し、維持するための経営資源を用意する
	・ 代表者による経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理
	・ 環境活動の取組み結果を代表者へ報告
	・ 全社的な教育訓練の計画・実施
全従業員	・ 環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚
	・ EA21で決められた各自の役割を実施

環境経営目標

当社の環境経営目標（中長期環境経営目標含む）を下表に示す。

（電気・水・化学物質は、手持ちの現場により大きく変動あり）

2023年9月～2024年8月	2024年9月～2025年8月	2025年9月～2026年8月	2026年9月～2027年8月
二酸化炭素の排出量を 37,878 kg 以下にする	同左30,702kg以下にする	同左30,394kg以下にする	同左30,090Kg以下にする
電力の消費量を 23,663 kWh 以下にする	同左23,426kWh以下にする	同左23,192kWh以下にする	同左22,960kWh以下にする
ガソリンの消費量を 11,900 L 以下にする	同左11,781L以下にする	同左11,663L以下にする	同左11,546L以下にする
水の消費量を 31.7 m3 以下にする	同左31.4m3以下にする	同左31.1m3以下にする	同左30.7m3以下にする
一般廃棄物排出量を 70 Kg 以下にする	同左69.3Kg以下にする	同左68.6Kg以下にする	同左67.9Kg以下にする
産業廃棄物排出量を 43,066 Kg 以下にする	産業廃棄物排出量を 42,635Kg以下にする	産業廃棄物排出量を 42,209Kg以下にする	産業廃棄物排出量を 41,787Kg以下にする
—	水性塗料の使用率を95% 以上にする	同左	同左
化学物質使用量を 40 Kg 以下にする	同左40Kg以下にする	同左40Kg以下にする	同左40Kg以下にする
産業廃棄物再資源化率 95 % を目指す（建設リサイクルに関連）	同左	同左	同左

契約電力会社：東京電力エナジーパートナー 二酸化炭素排出係数（2020年度）：0.434kg・CO₂/kWh

環境経営目標の実績と評価

2023年9月～2024年8月実績

月	二酸化炭素	電力	ガソリン	水	一般廃棄物	産業廃棄物	化学物質	産業廃棄物 再資源化率
	kg	kWh	L	m3	kg	kg	kg	%
9月	4,090	630	1,645	24.9	6	16,520	0.0	97
10月	4,053	238	1,703	26.4	6	6,746	16.0	97
11月	2,748	202	1,147	1.8	7	7,390	0.0	94
12月	2,385	233	985	1.8	6	2,340	0.0	94
1月	1,594	253	640	2.0	4	2,080	0.0	94
2月	1,305	349	497	2.0	3	1,040	0.0	94
3月	1,825	265	737	3.5	6	0	0.0	-
4月	1,201	176	485	2.0	11	650	0.0	94
5月	1,397	193	566	1.5	8	0	0.0	-
6月	1,254	227	498	1.5	3	0	0.0	-
7月	1,934	306	776	1.5	4	16,500	0.0	100
8月	2,365	351	954	1.5	2	2,080	20.0	94
合計	26,152	3,423	10,632	70.3	65	55,346	36	95

2023年9月～2024年8月評価

項目	目標	実績	評価
二酸化炭素排出量削減 Kg-CO2	37,878	26,152	○
電力消費量削減 kWh	23,663	3,423	○
ガソリン消費量削減 L	11,900	10,632	○
水使用量削減 m3	31.7	70.3	×
一般廃棄物排出量削減 Kg	70	65	○
産業廃棄物排出量削減 (変動有) Kg	43,066	55,346	×
化学物質使用量削減 (変動有) Kg	40	36	○
産業廃棄物再資源化率 %	95	95	○

環境経営計画、取組結果と評価次年度の環境経営計画

環境経営計画	取組結果	評価	次年度の環境経営計画
電力使用量の削減 こまめな消灯 事務機器節電 空調の適温化	無人場所の消灯、事務機器のエコモード活用を意識して行った。さらに意識づけしていきたい	○	今年度の計画を継続して実施する
ガソリン消費量の削減 一定の速度で運転する 計画的な運行 公共交通機関の活用	ガソリン使用量削減を心掛けることで、経費削減の面に加えて二酸化炭素低減にもつながることを意識しながら実施した。さらに意識づけをしていきたい	○	今年度の計画を継続して実施する
水使用量の削減 蛇口こまめ開閉運動 漏水点検 節水ステッカーを貼る	引き続き水道箇所に節水シールを貼りつけてあり、使用する際の意識づけをしている	○	今年度の計画を継続して実施する
一般廃棄物排出量の削減 裏紙の使用 物品購入時に過剰包装されないようにする	裏紙の使用は徹底している。物品の購入時に過剰包装されないようにする。この状態を維持していきたい	○	今年度の計画を継続して実施する
産業廃棄物排出量の削減 再生再利用の推進 委託する排出業者の許可確認	マニフェストによる確認・管理	○	今年度の計画を継続して実施する
環境に配慮した材料の使用率の向上 ※次年度より追加	水性塗料を積極的に採用する (発注者から指定のある場合を除く)	-	次年度より新しく項目を追加する
化学物質使用量削減 化学物質の種類を把握する 保管場所の整理保管	化学物質の種類を知るためにSDSの管理を徹底している	○	計画の周知徹底を図り、取組を強化する。
産業廃棄物再資源化率 再生再利用の推進 研削材循環・再利用工法の採用	再資源化率の高い産業廃棄物を知る	○	今年度の計画を継続して実施する

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 当社に関連する法規

- ① 廃棄物処理法
- ② 消防法
- ③ 道路交通法
- ④ 道路運送車輛法
- ⑤ 家電リサイクル法
- ⑥ 下水道法
- ⑦ 建設リサイクル法
- ⑧ 大気汚染防止法
- ⑨ 騒音規制法

2. 違反、訴訟等

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

代表者による全体評価と見直しの結果

今回は水使用量、産廃排出量が未達となった。

水使用量については、前年度同様本社社屋建て替えに伴う工事で使用したことにより一時的に使用量が増えたことが原因。

産業廃棄物排出量については、工期が2年半に渡る現場が終わり、混合廃棄物がまとまって排出されたことが原因。

2023年9月より社員1人増員のため、ガソリン使用量の目標値を設定しなおした。また、一般産廃物排出量の目標値が実績の数値とかけ離れているため、今年度より設定しなおした。化学物質使用量の目標値についても2.5現場同時進行していることを想定し、設定しなおした。

エコアクション21に登録後、会社全体がエネルギー使用量削減の活動を積極的に行っている。引き続き会社全体の意識を維持しつつ、更なる向上を目指す。